

渡慶次小学校

六年一組

多鹿

妙

私は、六年生になって、平和について考え

る時間が多くなりました。校外平和学習で

平和の大切さや戦争のおそろしさなどを学

びました。

「チビチリがマ」

渡慶次地下洞窟群

「渡慶次忠魂碑」

「恨の碑」

に行くと戦争

に行ったことを聞きました。私が最も心を

強く打たれたのは、「チビチリがマ」です。

「チビチリがマ」では合計八十五人もの

人が亡くなりました。がマにいた人々は、ア

メリカ軍に殺されることをおそれて、八十三

人が集団自決を行いました。子ども達は、親

に包丁で刺され殺されました。火を燃やして

窒息死をしたり、毒薬注射をして死んだ例も

あつたそうです。

私は、「チビチリがマ」に行くとがマの中

が暗くて怖かったけど、当時の人達はもと

怖かった人だらうなと思います。また、イ

ンターネットでもチビチリかまをもっと詳しく調べてみました。そこにはどうして集団自決が始まったか書かれています。かまの中に、中国から戦争して帰った人がいました。その人は、かまの中の住民に、アメリカ人につかまったら、残こくに殺されるよ」と言っただけです。すると、中の住民はさわぎだし、集団自決が始まりました。

私は、こんな悲しい理由があった。集団自決が始まったことにショックを受けました。そして、もう二度と戦争を起こさないようにしたいと思いました。

平和学習で、私は平和はとても大切なんだと改めて実感しました。誰かをイジメたり、悪口を言ったりすることは、戦争が始まるんだと思います。どんな時でも、相手を思いやる気持ちを持って、接することが大切だと思います。だから、これから、これからも相手を思いやる気持ちを持ち、平和がずっと続いてほしいです。